



**第50回(2022年度)
地域安全学会研究発表会(春季)
愛媛大会 プログラムとオンライン参加マニュアル**

2022. 5.20-21

愛媛大学 城北キャンパス
+オンライン開催 (Zoom)

※ 要事前参加登録 →p.7【参加登録】



地域安全学会
Institute of Social Safety Science

■会場 愛媛大学城北キャンパス(松山市文京町3)【5/20】共通講義棟A(受付:2階 多目的レクチャー室1)
【5/21】グリーンホール

■アクセス JR松山駅から市内電車環状線乗車15分「赤十字病院前」駅下車, 徒歩3分



目次

日程	2
ハイブリッド対応の概要	4
現地会場とZoomミーティングとの対応	4
現地参加発表者のインターネット接続	4
現地参加発表者の発表方法	4
(会場外)オンライン参加発表者の発表方法	5
現地参加者の質疑・コメント方法	5
オンライン参加者の質疑・コメント方法	5
Zoomミーティング参加方法ガイド	6
事前準備	6
参加登録	7
現地参加発表者のインターネット接続(再掲)	8
会場外からオンライン参加の場合	8
Zoomへの参加方法	8
メインセッション・ブレイクアウトルーム間の移動方法	9
発表時の画面共有の手順	11
質問・コメントの手順	12
一般論文発表会プログラム	13
タイムテーブル	13
Aセッション発表論文	14
Bセッション発表論文	15
Cセッション発表論文	16
Dセッション発表論文	17
一般公開シンポジウム開催趣旨	18
謝辞	19

日 程

2022年 5月20日(金)

11:30 参加受付開始(受付: 共通講義棟A 2階 多目的レクチャー室1)

12:10 一般論文発表会

A~D各会場; Zoom各ブレイクアウトルーム(BR)

	【Aセッション】	【Bセッション】	【Cセッション】	【Dセッション】
会場	4階 A44教室	4階 ALR教室	4階 A42教室	3階 A35教室
12:10	第I部	第I部	第I部	第I部
13:30	第II部	第II部	第II部	第II部
15:00	第III部	第III部	第III部	第III部

※ オンライン参加にはZoomミーティングへの事前の参加登録(→p.7【参加登録】)が必要です。

16:45 2022年度地域安全学会総会

A会場(4階 A44教室); Zoom【メインセッション】

2021年度各賞表彰式

表彰委員長 池田浩敬(常葉大学)

- 秋季研究発表会優秀発表賞
- 論文奨励賞
- 年間優秀論文賞
- 論文賞

2021年度地域安全学会論文賞受賞記念講演
議事

高橋幸宏(岐阜大学大学院)
会長 村尾 修(東北大学)

18:00 懇親会

愛媛大学校友会館1階 Maple

2022年 5月21日(土)

9:00 受付開始

9:30 一般公開シンポジウム

愛媛大学城北キャンパスグリーンホール; Zoom【メインセッション】

「2018年7月豪雨災害からの復興と南海トラフ地震の事前復興」

学会長挨拶
来賓挨拶

地域安全学会会長 村尾 修
西予市長 管家一夫

基調講演「西予市の復興まちづくりと事前復興」

西予市危機管理課長 谷川和久

パネルディスカッション

【提供話題】(仮)

- ・野村町での住民協働の復興まちづくり
- ・真備町での豪雨災害からの復旧・復興
- ・わが国の事前復興の現状
- ・愛媛県の事前復興への取り組み
- ・南海トラフ地震事前復興指針

【パネリスト】

愛媛大学教授 松村暢彦
高知県立大学教授 神原咲子
東京大学教授 加藤孝明
愛媛県防災危機管理課長 岡田文夫
愛媛大学教授 森脇 亮

【コーディネーター】

愛媛大学特定教授 森伸一郎

閉会挨拶

愛媛大学教授 ネットラ・プラカス・バンダリ

※ オンライン参加にはZoomミーティングへの事前の参加登録(→p.7【参加登録】)が必要です。

12:00 視察バスツアー

愛媛大学城北キャンパス正門 発

「西予市野村町野村肱川流域浸水地域復興状況ガイドツアー」

12:00 愛媛大学城北キャンパス正門発(一般公開シンポジウム終了後)

14:00 西予市野村町乙亥会館着

【現地におけるガイドツアー】

16:00 乙亥会館発

18:00 松山空港着

18:30 JR松山駅着予定

ハイブリッド対応の概要

今回のオンラインでの研究発表会は、愛媛大学城北キャンパスを会場とする現地開催に加え、Zoomによるオンライン参加も可として実施します。このハイブリッド形式での研究発表会を円滑に進行するために現地参加、オンライン参加それぞれの皆様には、以下の点についてご理解とご協力をお願いします。

【現地会場とZoomミーティングとの対応】

- 当日は、現地会場のほか、オンライン上で単一のZoomミーティングを開催し、そのメインセッション及び4つのブレイクアウトルーム(BR)を、現地会場の各教室と接続し、現地会場の模様を同時配信するほか、オンライン上からの発表・質疑等も可能とします。
- Zoomミーティングの「メインセッション」で、開会式・総会・シンポジウムを同時配信します。
- 同ミーティングの各「ブレイクアウトルーム」でA, B, C, D各セッションを開き、それぞれ現地のA, B, C, D各会場における研究発表会各セッションの模様を同時配信します。
(※「メインセッション」と「Aセッション」等は異なるものです。)

【現地参加発表者のインターネット接続】

- ▶ 後述の通り、現地会場でのご発表の皆様にも、各自ご持参のPCから、Zoomミーティング・BRにご参加いただく必要があります。
- 現地会場には、発表者用に臨時のWi-Fiルータを設置します(SSID・パスワードは現地会場に掲示します)。
- ▶ Wi-Fiの負荷軽減のため、現地会場で聴講・質疑のみでご参加の皆様、また、発表を終了されました方々は、臨時Wi-Fiルータへの接続をご遠慮ください。(Wi-Fi接続が必要な場合には、ご自身のモバイルルータ等をご利用ください。あるいは次のeduroamの利用をご検討ください)
- なお、愛媛大学ではeduroamが利用可能です。ご所属の大学・研究機関などがeduroamに参加している場合には、予め各自のご所属でeduroamのID等のご登録、使用方法のご確認をお願いします。(eduroam参加機関 <https://www.eduroam.jp/participants/siteinfo.html>
eduroam JP認証連携IDサービス <https://federated-id.eduroam.jp/>)

【現地参加発表者の発表方法】

- 研究発表会等における発表画面(スライドショーなど)は、Zoomの画面共有を行っていただくことで、オンライン配信するとともに、現地会場で「会場内AV用PC」に接続したプロジェクターでも投影を行います。
(現地会場においてプロジェクターにケーブル接続するPCの入れ替えは行いません。)
- ▶ そのため、現地会場でのご発表の皆様にも、各自ご持参のPCから、Zoomミーティング・BRにご参加いただく必要があります。

- ▶ 発表時にはご自身のPCでスライドショーを実行し、Zoomで画面共有してください。
- ハウリング防止のため、発表者を含めて現地会場内の音声は、運営側が用意する「会場内AV用PC」に接続したマイク・スピーカシステムによって一元化し、Zoomへの入出力を行います。(つまり、発表画面と発表者の音声は、異なるアカウントからZoomに配信されます。)
- ▶ そのため、現地参加発表者は、発表中にもご自身のPCのマイクは「ミュート」、スピーカは「オフ」としてください。
- ▶ 一方、ご自身の発表中には、PCのカメラは「オン」にし、発表者の姿を表示してください。
- 上記のような方法で会場内に投影しますため、発表者の手元のPCでの操作から、プロジェクターの表示まで、若干のタイムラグが生じる可能性がありますので、予めご承知おきください。

【(会場外)オンライン参加発表者の発表方法】

- ▶ 会場外からオンライン参加でご発表の方々は、通常通りのZoomの操作によって、画面共有を行いながら口頭説明を行ってください。
- ▶ ただし、音声の入出力に関しては、ヘッドセットやイヤホンをご利用いただくか、またはエコーキャンセル機能付きのマイク・スピーカシステムをご利用ください。
↑ ハウリングや音声のはね返りを防ぐためです。これらを使用しない場合、ご自身の環境では問題なくても他の参加者に悪影響を及ぼすおそれがありますので、必ずご協力ください。

【現地参加者の質疑・コメント】

- ▶ 現地会場でご参加の方々に、各発表に対して質疑・コメントを希望する場合には、会場内の司会者に対して挙手で意思表示し、司会者からの指名を受けた上でご発言ください。
- ▶ その際、オンライン配信用のマイク・スピーカシステムへの音声入力にご協力をお願いします。具体的には、マイクを受け取ってから、あるいはマイクに近づいてから発言を始めてください。

【オンライン参加者の質疑・コメント】

- ▶ (会場外からの)オンライン参加の方々に、各発表に対して質疑・コメントを希望する場合には、Zoomの「リアクション」ボタンをクリック→「手を挙げる」をクリックして意思表示し、司会者からの指名を受けてから、マイクミュートを解除した上で、ご発言ください。
- ▶ 質問・コメントの発言終了後には、Zoomで「手を下ろす」をクリックしてください。

Zoomミーティング参加方法ガイド

今回の研究発表会での発表を行う方々は、現地参加/オンライン参加の違いを問わずにZoomミーティング/ブレイクアウトルームにご参加の上、Zoomで画面共有を行っていただくことで、プレゼンテーション画面をオンライン配信するとともに、現地会場でのプロジェクター投影も行います。

そのため、オンライン参加の皆様のほか、現地会場でご発表される方々にもZoomミーティングにご参加いただく必要があります。

一方、現地会場において聴講・質疑のみでご参加の皆様は、オンライン参加は不要です。

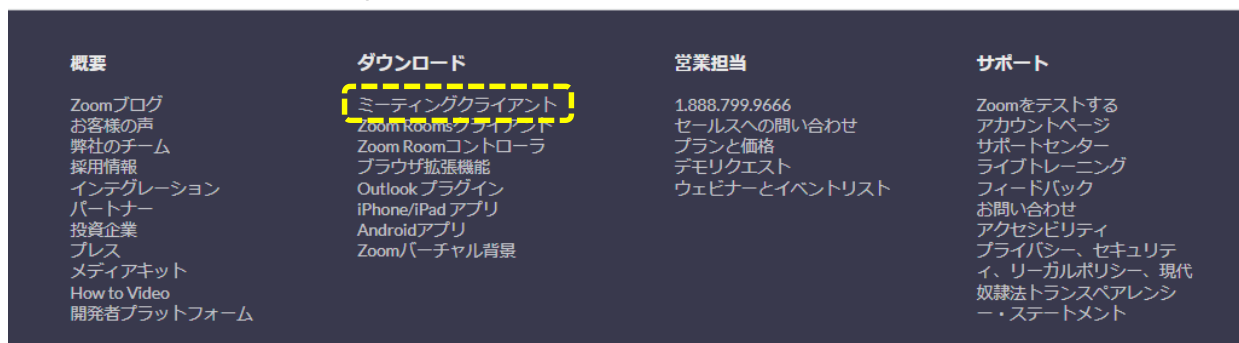
【事前準備】

Zoomのサインアップ(ユーザー登録)と、アプリケーションのインストールをお願いします。Zoomミーティングに参加するためには、いずれも無料で行うことができます(有料オプションの適用は不要です)。

- Zoomのサインアップを行うには、<https://explore.zoom.us/ja/products/meetings/> の画面上部にある「サインアップは無料です」をクリックし、指示に従って登録してください。



- Zoomアプリをインストールするには、Zoomのwebサイト <https://explore.zoom.us/ja/products/meetings/> の画面最下部にある「ミーティングクライアント」をクリックし、指示に従って操作してください。



■ 全員必須 ■

参加者がメインセッションと各ブレイクアウトルーム(セッション)間を自身の操作により移動できる機能は古いバージョンのZoomでは利用できません。既にZoomアプリをインストールされている方も必ず事前に**最新版にアップデート**(2022/5/5現在, ver.5.10.4)しておいてください。

- ▶ Zoomアプリを起動しサインイン → 画面右上のプロファイル画像のアイコンをクリック → 「更新を確認」(または「アップデートを確認」) → 指示に従って操作してください。



- Zoomの使用方法については、web上の解説などをご参照ください。
例) https://biz.teachme.jp/blog/what_is_zoom/ <https://zoom-japan.net/manual/pc/>
- 事前にZoomのテストを行いたい方は、次のテスト用ミーティングサイトをご利用ください。
<https://zoom.us/test> (→参加者ウィンドウ、チャットウィンドウ、ミュート、カメラなどをテストできます。)

【参加登録】

今回の研究発表会用のZoomミーティングに参加するには、**事前に参加登録が必要**です。
(なお、既に論文登録または参加登録をされている方々につきましては、実行委員会で登録を行いますので、改めてZoomへの登録を行っていただく必要はありません。)

- ▶ 事前に下記URLにアクセスし、本大会用のZoomミーティングへの**参加登録**をお願いします。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZAtcuqrrjwuGdAtusVdddAmwF1lex23VCf6>

(→登録完了後、本大会用ミーティング参加のためのURL等が自動発行メールで通知されます。

送信者: Zoom<no-reply@zoom.us>、

件名: 地域安全学会2022年度春季研究発表会確認)

【現地参加発表者のインターネット接続】

- 現地会場には、発表者用に臨時のWi-Fiルータを設置します(SSID・パスワードは現地会場に掲示します)。
 - ▶ Wi-Fiの負荷軽減のため、現地会場で聴講・質疑のみでご参加の皆様、また、発表を終了されました方々は、臨時Wi-Fiルータへの接続をお控えください。
 - なお、愛媛大学ではeduroamが利用可能です。ご所属の大学・研究機関などがeduroamに参加している場合には、予め各自のご所属でeduroamのID等のご登録、使用方法のご確認をお願いします。(eduroam参加機関 <https://www.eduroam.jp/participants/siteinfo.html>)
- ✓ 現地会場では音声入出力を運営側が用意する「会場内AV用PC」接続のマイク・スピーカシステムに一元化しますので、それ以外のPCではマイク:ミュート、スピーカ:オフの徹底にご協力ください。

【会場外からのオンライン参加の場合】

- ▶ 当日は、インターネット通信がなるべく高速・安定した環境からご参加ください。
- ▶ 会場外からオンラインでご参加の場合、可能であれば、Wi-Fi経由ではなく、LANケーブルで有線接続したPCの使用が推奨されます。
- ▶ 音声の入出力に関しては、ヘッドセットやイヤホンをご利用いただくか、またはエコーキャンセル機能付きのマイク・スピーカシステムをご利用ください。
↑ハウリングや音声のはね返りを防ぐためです。これらを使用しない場合、ご自身の環境では問題なくても他の参加者に悪影響を及ぼすおそれがありますので、必ずご協力ください。

【Zoomへの参加方法】

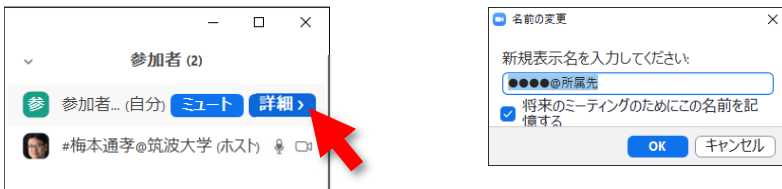
- ▶ 事前に通知された参加用URL(→p.7【参加登録】)をクリック(またはアクセス)することで、Zoomミーティングに参加できます。
- ▶ Zoomに参加するには、表示名を次のように設定してください:
 - 聴講参加の方: "お名前@ご所属"にしてください(例:小山真紀@岐阜大学)。
 - 司会の方: お名前の前に、#を付けてください(例:#小山真紀@岐阜大学)。
 - 発表者の方: お名前の前に発表番号を付けて下さい。番号は、アルファベット1文字と数字2桁の計3文字で表示してください(例:A02小山真紀@岐阜大学)。

※ 表示名は、入室してからの変更も可能です。

- Zoomに参加後、PCの場合はZoom画面下部のメニューバーのチャットアイコンと参加者アイコンをクリックいただくと、参加者リストとチャットが表示されます。



- 表示名を変更するには、参加者リストのご自身の項で「詳細」→「名前の変更」をクリック。



- ▶ 参加されたら、マイクとカメラが正しく設定されているかどうかを確認して下さい（Zoom画面下部メニューバーのマイクアイコンおよびカメラ(ビデオ)アイコンの横の ^ をクリックすると、マイクまたはカメラの設定が確認できます）。



- メニューバーのマイクアイコンをクリックすることでミュートのOn/Offを切り替えられます
- ▶ ただし、会場外からのオンライン参加で発表・発言される場合を除き、参加者は**マイクをミュート**にしてください。
(特に、現地会場内の皆様は、**常時、マイク:ミュート、スピーカー:オフの徹底**にご協力ください)

【メインセッション・ブレイクアウトルーム間の移動方法】

メインセッション(本会議)・BR(セッション)間の移動方法は、次の通りです。

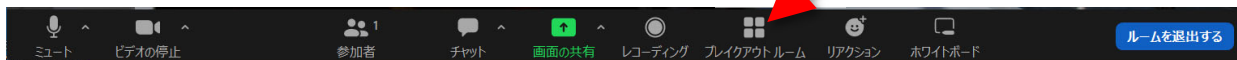
- ▶ **メインセッション → ブレイクアウトルーム へ移る:**
Zoom画面下部のメニューバーの「ブレイクアウトルーム」アイコンをクリックすると、ブレイクアウトルーム(A~Dの各セッション)のリスト画面が開きますので、任意のセッションの[参加]をクリックしてください。



※ 画面表示幅が狭い場合などには、「ブレイクアウトルーム」のアイコン表示が、「詳細」または「その他機能」などと略記されていることもあります。



- ▶ ブレイクアウトルーム → ブレイクアウトルーム へ移る:
メインセッションからの移動と同様に、メニューバーの「ブレイクアウトルーム」アイコンから操作してください。



- ▶ ブレイクアウトルーム → メインセッション へ戻る:
画面下部右端に表示される「ルームを退出する」ボタンをクリック→「ブレイクアウトルームから退出」をクリックしてください。



(※ 「メインセッション」と「Aセッション」等は異なるものです。)

- ▶ 5/20(金)12:00～12:10の開会式, 16:45～18:00の総会, 5/21(土)9:30～11:30の一般シンポジウムについては, Zoomミーティングのメインセッション(本会議)にご参加ください。
- ▶ 5/20(金)12:10～16:30の研究発表会では, A～D各セッションのうち任意のBRにご参加ください。
- BR内においても, Zoomの「メインセッション」でのミーティングと同様に画面共有やチャットなどの機能が利用できます。

【発表時の画面共有の手順】

この手順に従わなければいけないわけではありませんが、次のような操作によって、比較的スムーズ・確実にPowerPoint等のスライドショー画面を共有することができます。

(操作の流れ: 先にスライドショーを開始してから、その画面をZoomで共有対象として選択します。)

0) Zoomを起動し、研究発表会用のミーティングにおいて、発表の場となる「メインセッション」(本会議)または「ブレイクアウトルーム」(A~D各セッション)に参加する。

1) PowerPointでスライドショーを実行する(→スライドショーが全画面表示されます)。

2) PCのキーボードにある「Windowsロゴキー」を(物理的に)押す


→Windowsのスタートメニューとともに、PC画面下部にタスクバーが表示されます。ここで、ご利用のOSがWindows10以前と、Windows11の場合とで、次の操作が若干異なります。

3)【Windows10以前】タスクバーのZoomアイコンにカーソルを合わせ → Zoomミーティングのサムネイルをクリック

3)【Windows11】タスクバーに表示される「タスクビュー」ボタンをクリック → 起動中のアプリ一覧から、Zoomミーティングのサムネイルをクリック

※ 事前にタスクビューボタンの表示設定をご確認の上、タスクビューボタンの表示を「オン」にしてください。

→スライドショー画面より手前側に、Zoomの画面が表示されます。

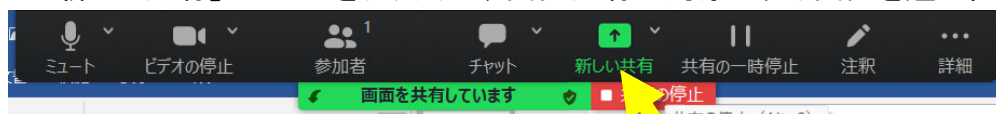
※このときZoom画面が最小化され小さな画面になっている場合があります。その際は最小化画面の右下の (このアイコンをクリックしてください)。

4) Zoom画面下部のメニューバー中央の「画面の共有」アイコンをクリック。



5) 画面共有の対象候補の中から、冷静に「PowerPoint スライドショー」画面を選択する。

※意図しない画面が共有されてしまった場合には、Zoom画面上部に表示されるメニューバーの「新しい共有」アイコンをクリックし、画面共有の対象とする画面を選び直してください。



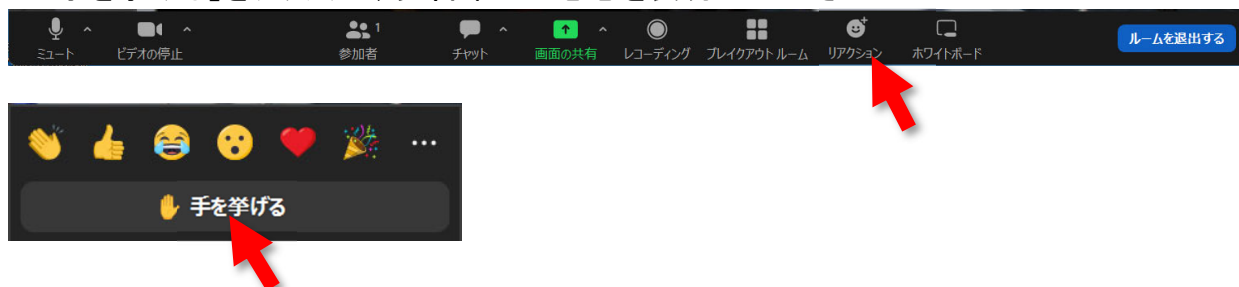
直前の発表が終了に近づいたところで、(司会者からの指名を受けるのに先だって)上記手順の3)まで行っておくと、発表開始がスムーズになります。

- PowerPointを用いて発表する場合には、スライドショー画面(または発表者ツール画面)で右クリック→「ポインター オプション」→「レーザー ポインター」をクリックした上で、スライド上の説明箇所を指し示しながら発表してください。

【質問・コメントの手順】

質問・コメントで発言したい場合には、次の手順でその意思を示した上で、必ず司会者による指名を受けてから発言を始めてください。

- 1)質問・コメントで発言したい場合には、Zoomメニューバーの「リアクション」アイコンをクリック→「手を挙げる」をクリックし、発言希望の意思を表明してください。



- 2)司会者から指名されたらマイクのミュートを解除した上で、発言してください。
- 3)発言を終了したら、再びマイクをミュートに戻し、「リアクション」→「手を下ろす」をクリックしてください。

以上

一般論文発表会・総会 プログラム

日時 2022年 5月20日(金) 12:10~18:00

ZoomBR	【Aセッション】	【Bセッション】	【Cセッション】	【Dセッション】
会場	4階 A44教室	4階 ALR教室	4階 A42教室	3階 A35教室
司会	落合努(神奈川大学)	鈴木雄太(建築研究所)	平山修久(名古屋大学)	稲垣景子(横浜国立大学)
12:10	A01	B01	C01	D01
12:22	A02	B02	C02	D02
12:34	A03	B03	C03	D03
12:46	A04	B04	C04	D04
12:58	A05	B05	C05	D05
13:10	A06	B06	C06	D06
休憩(8分)				
司会	中野晋(徳島大学)	川見文彦(同志社大学)	永松伸吾(関西大学)	近藤伸也(宇都宮大学)
13:30	A07	B07	C07	D07
13:42	A08	B08	C08	D08
13:54	A09	B09	C09	D09
14:06	A10	B10	C10	D10
14:18	A11	B11	C11	D11
14:30	A12	B12	C12	D12
14:42	A13	B13	C13	D13
休憩(6分)				
司会	上岡洋平(日本ミクニヤ)	寅屋敷哲也(人と防災未来セ)	松川杏寧(防災科研)	杉安和也(岩手県立大学)
15:00	A14	B14	C14	D14
15:12	A15	B15	C15	D15
15:24	A16	B16	C16	D16
15:36	A17	B17	C17	D17
15:48	A18	B18	C18	D18
16:00	A19	B19	C19	D19
16:12	A20	—	—	—

※黒枠・白文字:会場外からのオンライン発表

時間厳守, 時間配分の目安:発表7分, 質疑応答5分

	総会	A会場(4階A44教室);	Zoomメインセッション
16:45	2021年度各賞表彰式		表彰委員長 池田浩敬(常葉大学)
17:05	2021年度地域安全学会論文賞受賞記念講演		高橋幸宏(岐阜大学大学院)
17:30	議事		会長 村尾 修(東北大学)

梗概集URL http://iss.jp.net/?page_id=81

※ 研究発表会への参加には, Zoomミーティングへの事前の参加登録(→p.7【参加登録】)が必要です。

Aセッション発表論文

	時刻	論文題目	発表者
A01	12:10	U-Netを用いた旧版地図からの水域の抽出	荻田 亜美
A02	12:22	岐阜市における複数河川を考慮した地点ごと洪水危険度評価の試み	前島 莉樹
A03	12:34	Deep Learningを用いた簡易型河川監視カメラ画像における越水検知の検討	上岡 洋平
A04	12:46	500mメッシュ地理空間情報を用いた21世紀日本全土の居住地災害リスク	藤原 叶多
A05	12:58	多時期の衛星SAR画像を用いた2016年熊本地震からの益城町の復興モニタリング	山崎 文雄
A06	13:10	常時微動観測による地震動の補正と木造住宅の倒壊シミュレーションを用いた道路閉塞率の算出	中村 友紀恵
	13:22	(休憩)	
A07	13:30	個別要素法を用いた土砂災害による木造家屋倒壊メカニズムの基礎的検討	小林 純平
A08	13:42	高精度位置・角度情報を用いた被写建造物の被災部位判定	富永 佳吾
A09	13:54	リモートセンシング画像と火災保険損害データに基づく台風による住宅損害割合の推定	村田 雄亮
A10	14:06	災害時避難施設の継続使用性判断方法に関する基礎的研究 ー地盤特性と建物固有振動数の検討ー	落合 努
A11	14:18	多点同時微動測定に基づく高知県中土佐町旧役場庁舎の振動モード	栗田 哲
A12	14:30	横断歩道橋に対する常時微動観測で得られた振動特性	深津 宗祐
A13	14:42	死者軽減を目的とした積雪荷重の季節変動性に伴う要耐震化木造住居の推定	村山 凜成
	14:54	(休憩)	
A14	15:00	PIX2PIXを用いた沿岸域におけるDSMからDTMを生成する試み	八嶋 恵一郎
A15	15:12	近年の災害検証報告書から見る大規模水害時の消防運用の現状と課題	土橋 弘武
A16	15:24	体験談等と氾濫解析による徳島市内の第二室戸台風被害の分析	中野 晋
A17	15:36	土石流による被災箇所でのドローン観測と崩壊土砂量の推定	谷崎 巧朗
A18	15:48	基礎調査データに基づく土石流による建物被害予測と土砂氾濫域の推定	橋本 裕輝
A19	16:00	常時微動による複数の火口縁の振動特性の比較	山田 雅行
A20	16:12	災害時の寒冷曝露に起因した低体温症被害評価手法の構築	飯田 彬斗

※黒枠・白文字:会場外からのオンライン発表.

Bセッション発表論文

	時刻	論文題目	発表者
B01	12:10	伊能図水害地名を用いた洪水浸水リスクの検証	宇野 宏司
B02	12:22	近年の水害によるライフライン被害の特徴	鈴木 崇伸
B03	12:34	大阪市消防局救急活動記録に基づく平成30年台風第21号による人的被害の経時的変化	志垣 智子
B04	12:46	令和4年福島県沖を震源とする地震による電力需給逼迫問題からの示唆 ー首都直下地震を対象としてー	寅屋敷 哲也
B05	12:58	2019年房総半島台風による被害と地域の防災力	佐藤 孝治
B06	13:10	3つの震災事例における被災地とそれ以外の地での判例データからみた災害の特徴についての一考察	植田 大貴
	13:22	(休憩)	
B07	13:30	自治体向け時空間地理情報システムを用いた家屋形状データの随時更新体制に関する一考察～由利本荘市を事例として～	金子 幸喜
B08	13:42	同時多発火災の避難限界期に残存する複数避難経路の抽出	鈴木 雄太
B09	13:54	地震発生後の各種製造業の生産水準の推定手法の検討	清水 智
B10	14:06	東京都民の地震の被害想定に関する意識	安本 真也
B11	14:18	人口減少地域での被災による地域人口への影響と地域の持続のための地震再発に備えた住宅復興戦略の研究	櫛部 泰弘
B12	14:30	2022年3月16日福島県沖地震直後の自治体Webサイトの調査	湯瀬 裕昭
B13	14:42	東日本大震災後の避難所滞在期間と社会的脆弱性との関連	川見 文紀
	14:54	(休憩)	
B14	15:00	民間災害対応拠点による被災者支援の実態とその可能性 ー令和2年7月豪雨被災地を事例にー	石原 凌河
B15	15:12	復興公営住宅の高齢者の課題と地域防災の取り組み ー震災から27年経った神戸市HATなぎさ地区において	氏家 里菜
B16	15:24	住民の助け合いにつながる地域活動に関する一考察 ー「困りごと」を接点とした人のつながりに着目してー	山口 まどか
B17	15:36	東日本大震災前後の名取市閑上地区における居住環境評価アンケート結果報告	加藤 春奈
B18	15:48	東日本大震災復興事業に基づく津波被災前の高台移転による被害軽減効果 ー宮城県女川町をケーススタディとしてー	東野 幹久
B19	16:00	居住地域における看護職者の減災・復興活動への参加可能性	松田 朋子

※黒枠・白文字:会場外からのオンライン発表.

Cセッション発表論文

	時刻	論文題目	発表者
C01	12:10	世田谷6大学を事例とした留学生に対する防災情報の提供に関する一考察	川手 桃
C02	12:22	防災活動に参加した留学生の防災に対する意識調査 ーインタビュー調査における分析からー	石村 文恵
C03	12:34	在日中国人ネットワークの災害時共助コミュニティとしての可能性に関する研究	王 寧
C04	12:46	災害時における地域の情報収集及び物資支援方法の検討 ー愛知県岡崎市の地域特性別の分類と事例地区の考察ー	山田 竜
C05	12:58	被災者支援コーディネーションの役割に関する一考察	阪本 真由美
C06	13:10	災害後の犯罪発生に関する基礎研究	松川 杏寧
	13:22	(休憩)	
C07	13:30	市町村地域防災計画における竜巻災害対策に関する考察 ー全国の市町村地域防災計画調査よりー	宮崎 颯
C08	13:42	自治体が設置する防災関連サインの現状に関する研究 ー兵庫県内の自治体を対象としてー	オン シミン
C09	13:54	防災意識と新型コロナウイルスへの危機感の関連性に関する一考察	河本 尋子
C10	14:06	ウェアラブルカメラを用いた浄水場における技術継承の手法開発	平山 修久
C11	14:18	特別支援学校における災害時優先業務に関する一考察 三重県立特別支援学校における全校調査から	湯井 恵美子
C12	14:30	重要伝統的建造物群保存地区の災害脆弱性と防災計画に関する基礎的研究	大月 香穂
C13	14:42	中小企業の被害軽減に資するリアルタイム地震被害推定情報の活用の可能性 に関する調査	橋富 彰吾
	14:54	(休憩)	
C14	15:00	スモールビジネス向け簡易BCP 行動計画シートに関する研究 ー東京都荒川区製造事業所を対象としたアクションリサーチ報告ー	市古 太郎
C15	15:12	効果的な救助員配置による閉じ込め者救助法の基礎的検討	中嶋 唯貴
C16	15:24	南海トラフ臨時情報発令時の自治体の対応に関する検討 ー和歌山県串本町を事例としてー	金 玖淑
C17	15:36	障害児者を支える福祉事業者の災害対策の現状に関する研究 ー京都府山城北圏域を対象としてー	前川 良栄
C18	15:48	防災・危機管理課の自治体職員の災害ケースマネジメント能力と パーソナルネットワークの関連性	福島 麻斗
C19	16:00	コロナ禍におけるキャッシュ・フォー・ワーク	永松 伸吾

※黒枠・白文字:会場外からのオンライン発表.

Dセッション発表論文

	時刻	論文題目	発表者
D01	12:10	自治体職員を対象とした研修結果から見た建物被害認定調査における課題: 北九州市役所における事例から	辻 翔平
D02	12:22	災害時に都道府県が基礎自治体へ派遣するリエゾン職員の制度課題 に関する調査	藤原 宏之
D03	12:34	津波避難訓練時の急勾配スロープにおける多人数用ベビーカー搬送速度 に関する事例調査	Abel Tãiti Konno PINHEIRO
D04	12:46	リスク回避的な立地選択の意向を高めるイメージトレーニングに関する基礎的検討	藤本 一雄
D05	12:58	被災経験が大学の防災訓練を改善させるか	中村 貫志
D06	13:10	岩手県宮古市田老地区における夜間避難訓練の取り組み ーNPO法人による避難訓練企画の可能性ー	杉安 和也
	13:22	(休憩)	
D07	13:30	語り部学習を活用した時短型・災害疑似体験学習プログラム「ツナミリアル」 の開発と試行	佐藤 翔輔
D08	13:42	発災10年間にみる被災地来訪者の「期待」の推移: 東日本大震災被災地における震災学習への関心	渡邊 勇
D09	13:54	震災伝承の「担い手」研修と活動評価に関する実態把握 ー東日本大震災被災地;岩手・宮城・福島の3県を対象にー	浅利 満理子
D10	14:06	災害の記憶におけるパブリックヒストリーとダークツーリズム	井出 明
D11	14:18	南海トラフ地震臨時情報を住民と一緒に考える勉強会の実践	岡田 恵実
D12	14:30	まち保育における防災・減災の取り組み ーまちの資源を学ぶ防災教材「てくてくまっち」の開発ー	稲垣 景子
D13	14:42	谷戸地形の木造密集市街地を対象とした事前復興まちづくり訓練プログラムの 検討ー横浜での官学連携による事前復興システム構築のための取組みー	石川永子
	14:54	(休憩)	
D14	15:00	沖縄県石垣市における観光危機対策ユニットの設置と目標管理型災害対応 に基づいた災害対応図上訓練の実施	近藤 伸也
D15	15:12	地域安全学会実務者企画委員会の活動について	四井 早紀
D16	15:24	熊本県益城町における熊本地震の経験・教訓を踏まえた防災アクションカード の開発	秋元 康男
D17	15:36	アフターファイブにおける災害対応ステークホルダーの「顔の見える関係構築」と その効果～よんなな防災会がつなげる防災の輪～	竹 順哉
D18	15:48	防災リテラシー格差の把握に向けた地域住民のセグメント化に関する 基礎的研究	藤本 慎也
D19	16:00	組織間連携構築に向けた防災研修プログラムの専門職への適用	千葉 啓広

※黒枠・白文字:会場外からのオンライン発表.

第 50 回(2022 年度)地域安全学会研究発表会 (春季) 愛媛大会
一般公開シンポジウム

2018 年 7 月豪雨災害からの復興と南海トラフ地震の事前復興

■趣旨

わが国では、長い間、度重なる自然災害を受けて、そこから学んで防災・減災の科学・技術・法制・体制が整備され、また、災害復興の積み重ねから復旧・復興の体制・法制・思想が育まれています。2018年7月豪雨で愛媛県をはじめ西日本の広域で甚大な被害を被り、復興の途上にあります。また、2012年の南海トラフ巨大地震の被害想定以降、西日本では事前復興の重要性が指摘されています。肱川の越水氾濫により浸水被害を受けた西予市野村町、8か所の破堤による広域浸水被害を受けた真備町の経験を学ぶと同時に、南海トラフ巨大地震に対する事前復興を同時に進めている西予市の取り組みを共有して、ともに考えていきたいという趣旨のシンポジウムです。基調講演では、肱川の氾濫で浸水被害を受けた西予市野村町での復興まちづくりと西予市の事前復興について学びます。パネルディスカッションでは、西予市野村町と真備町での豪雨災害からの復興の状況を共有し、事前復興については、わが国の現状と愛媛県での取り組みを学びます。これら災害復興と事前復興の両面から議論します。

■日時 2022年5月21日(土)9:30~11:30 ※12:00から現地見学会視察バスツアー

■会場 愛媛大学城北キャンパスグリーンホール (愛媛県松山市文京町)

■参加 参加費無料・事前申込不要

■主催 一般社団法人 地域安全学会

■共催 愛媛大学、西予市

■内容

司会：三浦弘之 (広島大学准教授)

【挨拶】

村尾修 (地域安全学会会長・東北大学教授)

管家一夫 (西予市長)

【基調講演・パネリスト】

谷川和久 (西予市危機管理課長)

講演題目 (仮)

西予市の復興まちづくりと事前復興

【パネリスト】

松村暢彦 (愛媛大学教授)

神原咲子 (高知県立大学教授)

加藤孝明 (東京大学教授)

岡田文夫 (愛媛県防災危機管理課長)

森脇 亮 (愛媛大学教授)

提供話題 (仮)

野村町での住民協働の復興まちづくり

真備町での豪雨災害からの復旧・復興

わが国の事前復興の現状

愛媛県の事前復興への取り組み

南海トラフ地震事前復興指針

【コーディネーター】

森伸一郎 (地域安全学会理事、愛媛大学特定教授)

【閉会挨拶】

ネトラ・プラカス・バンダリ (愛媛大学教授)

謝 辞

西予市総務部危機管理課 様

愛媛県 様

松山観光コンベンション協会

織田太一郎様, 岡本直大様, 井上拓哉様

愛媛大学工学部 様

愛媛大学生生活協同組合 Maple(メイプル) 様

株式会社松山建装社 様

宇和島自動車株式会社 様

第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)愛媛大会の開催に当たりましては、上記の地元の機関・皆様にご協力いただき、多大なるご尽力をいただきました。ここに記して深謝申し上げます。

地域安全学会春季研究発表会拡大実行委員会

生田英輔 池田浩敬 市古太郎 梅本通孝 越村俊一 小山真紀 佐藤翔輔 三浦弘之 森伸一郎 湯瀬裕昭

第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)愛媛大会 ブックレット プログラムとオンライン参加マニュアル

企画・編集 地域安全学会春季研究発表会実行委員会

写真提供 松山観光コンベンション協会, 道後温泉事務所

制作・著作 一般社団法人 地域安全学会

Copyright©地域安全学会



道後温泉本館 夜景(画像提供:道後温泉事務所)